

第3節 実施計画

1. 実施計画表の見方

<見開き 左ページ>

基本理念を実現していくための目標です。

【基本目標 1】 安心して暮らせる地域(まち)づくり

| 基本計画 の柱 | 実 施 計 画 | |
|---------------------|----------------------|--------------|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 |
| 地域住民の 参加活動 の推 | 地域住民の参加と活動の推進 | ふれあいサロン活動の充実 |
| | 小地域福祉活動を推進するための体制の充実 | 研修事業の推進 |
| | | 小地域福祉活動推進の交付 |

基本理念・基本目標を実現していくための柱です。各柱に実施計画が続きます。

本会が実施する具体的な事業を柱として整理しています。

本会が実施を計画している具体的な事業です。

各事業の進捗状況が分かるよう、年度ごとに「検討」「継続」「実施」を記したスケジュールです。

事業の実施に際して、5カ年で充実・推進をはかりたい点や事業についてまとめています。

<見開き 右ページ>

| 実 施 計 画 | | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----------------------------|
| 計画実施の期間 | | | | |
| H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
| | | | | 充実・推進をはかるところ |
| 実施 | | | | 継続的な取り組みの支援 未実施と地区への働きかけ |
| 継続 | | | | 社協活動や小地域福祉活動への理解と参加促進 |
| 継続 | | | | 継続的、定期的な活動への支援と強化 |
| 継続 | 実施 | | | 小地域福祉活動や見守り活動への理解と連携 |

【基本目標 1】 安心して暮らせる地域(まち)づくり

| 基本計画 の柱 | 実 施 | | 計 画 | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|--------------------|---------|-----|-----|-----|-----|--------------|--|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 | 計画実施の期間 | | | | | 充実・推進をはかるところ | |
| | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| 地域住民の 参加と活動の 推進 | 地域住民の参加と活動の推進 | ふれあいサロン活動の充実 | | 実施 | | | | | 継続的な取り組みの支援 未実施地区への働きかけ |
| | 小地域福祉活動を推進するた めの体制の充実 | 研修事業の推進 | | 実施 | | | | | 社協活動や小地域福祉活動への理解と参加促進 |
| | | 小地域福祉活動推進助成金の交付 | | 継続 | | | | | 継続的、定期的な活動への支援と強化 |
| 福祉活動を推 進するための 体制づくり | 区・自治会、民生委員・児童委員との連携 | 懇談会等の開催 | | 検討 | | | | | 小地域福祉活動や見守り活動への理解と連携 |
| | 支部分会組織の基盤強化と意 識の高揚 | 支部活動の推進 | | 実施 | | | | | 地域間の意見交換や分会活動の推進 |
| | | 懇談会の開催 | | 検討 | 実施 | | | | 地域課題の把握 区・自治会、民生委員・児童委員との課題の共有と関係づくり |
| 日常的な見守 り活動の推進 | 地域見守り活動の推進 | 友愛活動等の推進 | | 実施 | | | | | 高齢者や障がい者等要配慮者の地域社会からの孤立防止 地域住民同士の日常的な関係づくり |
| | | 災害時の互助体制づくり | | 実施 | | | | | 緊急時、災害時の支援体制と日常的な関係づくり |
| | 日常的な見守り活動の推進 | ふれあい給食サービス事業の充実 | | 継続 | | | | | 配食を通じた見守り活動として、地域における対象者の現状より、 受給対象者および選定基準の調整・検討の実施 会食会、試食会の開催による啓発や地域との交流の実施 |
| 日常的な見守り活動の推進 | | ふれあいテレフォンサービス事業の充実 | | 継続 | | | | | 地域のニーズの把握 ボランティアと民生委員・児童委員との意見交換 ニーズの即したサービス提供に向けた体制づくり |

【基本目標 2】 支えあいの心と担い手づくり

| 基本計画 の柱 | 実 施 | | 計 画 実 施 の 期 間 | | | | | 充 実 ・ 推 進 を は か る と こ ろ | |
|--|----------------------|---------------------------|---------------|-----|-----|-----|-----|-------------------------|---|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 | 計画実施の期間 | | | | | | |
| | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| ボランティア の育成と参加 の促進 | ボランティア活動の広報と啓発 | 多様な広報媒体の活用 | | 継続 | | | | | 適切な機会、タイミングをはかって、様々な形で周知をはかる |
| | ボランティア活動のきっかけ づくり | ボランティアグループと連携しての講座の開催 | | 継続 | | | | | ボランティア活動へのきっかけを増やす ボランティアグループと実施しやすいやり方を調整して機会を増やす |
| | | 大学と連携したボランティア事業の推進 | | 検討 | | 実施 | | | 若年層が参加しやすいプログラムの構築 |
| | | 男性を対象にしたボランティア養成講座の開催 | | 継続 | | | | | 男性が参加しやすい講座づくりに努める 実際のボランティア活動につなげるためのフォローに力を入れる |
| | 活動先の受け皿づくり | ボランティアグループへの加入促進に向けた取り組み | | 継続 | | | | | ボランティアグループの活動や成果が伝わるようPRし、関心や興味を高める |
| | | 個人ボランティア活躍の場の充実 | | 実施 | | | | | ボランティアニーズにあわせ、個人ボランティアが活躍できるプログラムの構築をはかるとともに、登録する個人ボランティアへの連絡調整をはかる |
| ボランティア 活動基盤の 整備とコーデ ィネート機能 の向上 | ニーズ把握と地域課題の掘り 起こし | ボランティアとの意見交換会の開催 | | 実施 | | | | | ボランティア活動を通じて、見えてきた地域課題などについて共有し、 各々の役割等を踏まえて、課題解決に向けた協議を行う |
| | | ボランティアニーズ把握ルートの確立 | | 検討 | 実施 | | | | 地域や各種団体の集まりにおいて、京田辺市のボランティア活動の現 状等の周知をはかることで、連携をとりやすい体制づくりを進める |
| | コーディネート機能の充実 | ボランティアコーディネーターの資質向上のための研修 | | 継続 | | | | | ボランティア活動の向上等に関する研修会などに積極的に参加し、コ ーディネーターとしての資質の向上を目指す。また他市町村社協職員 との意見交換により、地域課題解決に向けた手法を学ぶ |

【基本目標 2】 支えあいの心と担い手づくり

| 基本計画 の柱 | 実 施 | | 計 画 | | | | | 充実・推進をはかるところ | |
|---------------------|------------------------|-----------------------------------|---------|-----|-----|-----|-----|--------------|---|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 | 計画実施の期間 | | | | | | |
| | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| 次世代の担 い手づくり | 体験型福祉事業の充実 | 社会福祉施設体験学習事業の内容の充実 | | 継続 | | | | | 毎年反省会を実施し、円滑な運営について検討・実践する 参加資格の拡大をはかる |
| | 市内教育機関との福祉活動の 推進 | 福祉協力校事業の充実 | | 継続 | 検討 | 実施 | | | 助成金額や申請資格等を見直し、学校における福祉教育を充実する 取り組みを支援する |
| | | 学校における福祉学習授業の取り組み支援 | | 継続 | | | | | 次世代の担い手の育成のため、福祉教育の充実をはかる |
| | | 情報交換の実施 | | 実施 | | | | | 福祉教育や学習方法等学校やボランティア、ゲストティーチャーが共有 し、意見交換する場を設ける |
| 災害時の支 援体制の推 進 | 災害ボランティアセンターの体 制の推進 | 災害ボランティアの確保と育成 | | 継続 | | | | | 災害ボランティアセンターを円滑に運営するための災害ボランティアの 事前登録者の募集 関係機関とのネットワークづくり |
| | | 災害ボランティアセンター運営にかかる備品の整備 | | 実施 | | | | | 災害ボランティアセンターの運営のための備品の整備 |
| | | 災害ボランティアセンター設置・運用研修の開催と手引きの更 新 | | 継続 | | | | | 運営スタッフとして携わる事前登録者のボランティアの養成とスキルア ップのための研修会開催 運営マニュアル(手引き書)の見直しと更新 |

【基本目標 3】 組織的なつながりと活動の強化

| 基本計画 の柱 | 実 施 | | 計 画 | | | | | |
|------------------------|-----------------------------|--------------------------|---------|-----|-----|-----|-----|---|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 | 計画実施の期間 | | | | | 充実・推進をはかるところ |
| | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | |
| 当事者団体の活動と組織化支援 | 会員の拡大と組織化の支援 | 当事者団体との懇談と活動支援 | 継続 | → | | | | 他市町村の当事者団体や組織と懇談することで、会員拡大につながる具体的な活動や方法について検討する |
| | 当事者の自主的・主体的活動や地域に向けた取り組みの支援 | 当事者団体による活動の支援 | 継続 | → | | | | 今後、団体活動の活性化に伴い、様々な内容の支援が必要となることが考えられ、ボランティア派遣など適切な対応をする |
| | | 当事者団体活動助成金の交付 | 継続 | → | | | | 事業内容が明確にわかる写真等に書類の添付等を徹底し、団体の活動内容の把握、進言等を行い、市民向けの啓発も行っていく |
| ボランティアグループの組織化推進と関係の強化 | ボランティアグループの組織強化 | ボランティアセンター機能(グループ支援)の充実 | 検討 | → | 実施 | → | | ボランティアグループの活動の活性化や組織強化のための研修 ボランティアグループ同士のつながりの強化 |
| | | ボランティアグループ等活動助成金の交付 | 継続 | → | | | | 厳正かつ適正な助成金の交付 助成金の有効活用 |
| | | 当事者団体とボランティアの関係づくりとその推進 | 検討 | → | 実施 | → | | 対象者の枠を超えて、お互いに交流できるような企画の立案と内容の工夫をはかる |
| | | スキルアップのための研修の実施 | 検討 | → | 実施 | → | | ボランティア一人ひとり、自分達の活動を見直し、活性化するような研修会の検討、実施 |
| | ボランティア連絡協議会の組織強化 | 情報交換のための交流会の開催 | 検討 | → | 実施 | → | | ボランティアやグループが増え、互いの活動を知り、活用し合い、高まるような催しを実施する |
| | | 研修会の開催 | 継続 | → | | | | 研修会を通じて、登録するボランティア同士が横のつながりを持ち、ボランティア連絡協議会活動の強化につなげていく |
| | | ボランティア連絡協議会への助成金の交付 | 継続 | → | | | | 助成金の交付を通じて、会の活性化、運営方法や取り組み内容についての検討・協議 |
| 社協と関係機関、団体との連携 | 福祉施設との協働事業 | 高齢者の閉じこもりの予防と仲間づくりの活動の推進 | 継続 | → | | | | ひとり暮らし高齢者の交流事業やひだまりの会などを活用した高齢者の参加促進 施設の機能や専門性をさらに活かした楽しみの提供 |
| | | 要支援内容の把握と関係づくり | 検討 | → | 実施 | → | | 施設活動におけるボランティアの派遣や活動について意見交換し、互いの活動が高まるようにする |
| 企業、大学等との関係づくり | 企業との関係づくり | 市内各企業等への働きかけ | 検討 | → | 実施 | → | | 市内各団体、地域役員等とのつながりを有効活用するなど、市内企業との関係づくりのための具体的な方法を検討する。 |
| | | 社協だよりの配布 | 実施 | → | | | | 社協だよりの送付先の企業にアンケートを同封し、感想等を求める賛助会員や募金協力のない企業に対して働きかけについて具体的な検討 |
| | 大学との関係づくり | 同志社大学・同志社女子大学との関係づくりの推進 | 検討 | → | 実施 | → | | 地域や活動を進めていく上で支援や連携が必要な具体的な取り組みを提示し、意見交換等をはかっていく |

【基本目標 4】安定した生活づくり

| 基本計画 の柱 | 実 施 | | 計 画 | | | | | 充実・推進をはかるところ | |
|------------------------|--|---------------|---------|-----|-----|-----|-----|--------------|--|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 | 計画実施の期間 | | | | | | |
| | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| 市社協福祉 サービス事業 の充実 | 在宅サービスの充実 ケアプランセンター デイサービスセンター ホームヘルプセンター | 介護の理解と普及 | | 実施 | | | | | 要介護者、家族、一般市民への情報提供と技術の伝達 介護講座、認知症サポーター養成講座の開催と啓発 |
| | | 利用者や家族との関係づくり | | 実施 | | | | | 利用者と介護者との関係づくり コミュニケーションの場の提供 介護者リフレッシュ、交流会などを通じた介護者同士のネットワークの 推進と個々の問題解決に努める |
| | | 職員の資質の向上 | | 継続 | | | | | 専門研修へ参加し、専門職としての意識を高める 職員間の情報交換、各センター内での会議、勉強会の実施 |
| | | 介護保険サービスの提供 | | 継続 | | | | | 利用者の立場に立ったサービスの提供 センター間の情報交換と協力体制の充実 地域とのつながりづくりの検討 |
| | | 関係機関との連携の推進 | | 検討 | | | | | 地域貢献へつなげるための市内事業所との連携の推進 |
| | 介護予防事業の推進 | ニーズの把握 | | 検討 | | | | | 介護保険制度外のニーズ把握 必要な支援につなげるとともに、市民へ周知する |
| | | 地域での生きがいづくり | | 継続 | | | | | これまでのふれあいサロン活動の支援を継続 さらに新しい地域に活動の幅を広げていく |

【基本目標 4】安定した生活づくり

| 基本計画 の柱 | 実 施 | | 計 画 | | | | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|---------------------|---------|-----|-----|-----|-----|--------------------------------|--|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 | 計画実施の期間 | | | | | 充実・推進をはかるところ | |
| | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| 市社協福祉 サービス事業 の充実 | ふれあい福祉相談事業の充実 | 専門相談員体制の充実 | | 継続 | | | | | 社会の状況や相談内容から、より問題解決につながる専門相談体制を検討 |
| | | 相談委員の研修の開催 | | 継続 | | | | | 適切な相談対応ができるために知識の向上をはかる |
| | | 総合相談事業の普及 | | 継続 | | | | | 社協だより、広報きょうたなべ、新聞等で啓発する |
| | 福祉サービス利用援助事業 (地域福祉権利擁護事業)の 充実 | 専門員・生活支援員の研修会の開催 | | 継続 | | | | | 利用者に適切な対応などができるように近隣市町村社協と合同で研修会を開催する |
| | | 関係機関との連携体制の推進 | | 継続 | | | | | 支援がスムーズに進められるよう、関係機関等とのネットワークを強化する |
| | | 当事者団体と連携した福祉援助活動の推進 | | 検討 | | 実施 | | | 読み書きサービス事業及び買い物支援の活動などこれまでの事業について、利用及び効率的な観点から |
| 各団体と連携 した福祉活動 の推進 | 社会的、文化的な活動への支援事業の推進 | | | | | | | 定期的に、また継続的に実施していく | |
| | 社会参加、地域参加促進のための環境づくりに向けた取り組み | | 実施 | | | | | 関係団体等と協力し、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指す | |

【基本目標 5】福祉を進めるための基盤強化

| 基本計画 の柱 | 実 施 | | 計 画 | | | | | 充実・推進をはかるところ |
|------------------------|---------------------------|---------------------|---------|-----|-----|-----|--|---|
| | 事業の柱 | 具体的な事業 | 計画実施の期間 | | | | | |
| | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | |
| 組織と財政の 強化と充実 | 自主財源の確保 | 社協会員の加入促進 | 実施 | | | | | 地域や社協活動と連動した地域や住民への周知 分会活動費の有効活動の促進 |
| | | 共同募金活動の推進 | 実施 | | | | | 共同募金活動の目的や用途を広める 配分の仕方や用途の見直し |
| | 職員間、事務局・事業所間の 連携強化 | 職員研修会の実施 | 継続 | | | | | 常に市民の立場に立ったサービス、事業展開に努めていくための 研修の実施 |
| | | サービス調整チーム会議の実施 | 実施 | | | | | 事務局、各事業所の職員で構成し、定期的に集まり、業務に関する ことや福祉課題などそのとき課題と感じたことなどテーマを設けて話 し合い、共有する |
| 広報啓発活 動の推進 | わかりやすい市民向けの広 報・啓発活動の推進 | 社協だより、ホームページ等の内容の充実 | 継続 | | | | 新しい情報の発信(タイムリーな情報提供) 全戸配布だけでなく、様々な催しを機会とした情報の発信 | |
| 市との連携し た地域福祉の 推進 | 市と連携した取り組みの推進 | 市との懇談会の開催 | 実施 | | | | 第2期京田辺市地域福祉計画と第2次地域福祉活動計画の進捗状 況に関して適正な時期に意見交換をはかる | |
| | | 地域福祉推進に対する取り組みの支援 | 継続 | | | | 市民ならびに地域における福祉活動を推進するための体制や活動 を向上するための「地域ふれあい福祉推進事業」の補助金の継続 を求めていく | |
| | | 市への提言 | 実施 | | | | 市民及び地域福祉活動を推進していく中で、公的機関の役割を発 揮してほしい所に関して、提言をする | |
| 地域福祉活 動計画の着 実な実施 | 地域福祉活動計画の推進 | 地域福祉活動計画推進委員会の運営 | 継続 | | | | 地域福祉活動計画の年度毎の自己評価と委員会評価 | |
| | | 中間評価の実施 | | 検討 | 実施 | | 平成26年度に中間評価の進め方について検討し、3年目にあたる 平成27年度に中間評価を行う | |